

—発表資料—

2026年6月18日  
26-14号

## ライオン、国立研究開発法人 産業技術総合研究所や経済産業省と連携し、 タイにおける健康経営支援としてオーラルヘルスケアサービスを紹介

—『SPORTEC Thailand 2026』『KENKO Investment for Health(日本型健康経営)』ブースへ出展—

ライオン株式会社(代表取締役兼社長執行役員:竹森 征之)は、サステナビリティ最重要課題の一つに「健康な生活習慣づくり」を掲げており、2030年までにアジア5億人にオーラルヘルスケア習慣を広げることを目標としています。その一環として、経済産業省の「健康経営のグローバル展開の推進」施策と連携し、日本以外の国として、まずタイにおいて健康経営に取り組む企業を対象に、オーラルヘルスケアサービスのニーズ把握および事業可能性の検証を行います。

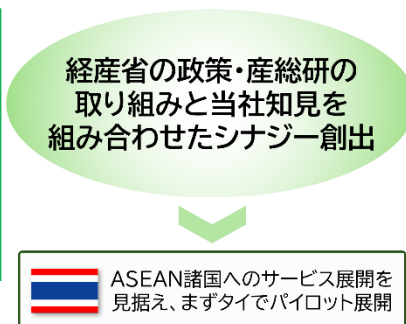
タイでは、う蝕(むし歯)や歯周病などの口腔疾患が就労世代に与える影響が、相対的に大きいことが報告されています<sup>※1</sup>。例えば、治療が必要なう蝕(むし歯)を有する就労世代(35~45歳)の割合は52.9%にのぼり、日本の同年代(35~39歳23.6%、40~44歳29.7%<sup>※2</sup>)と比較して、高い水準にあります。本社会課題の解決を図るべく、当社はタイ企業におけるオーラルヘルスケアの事業化に向けた初期検討の一つとして、2026年6月25日(木)~27日(土)にバンコクで開催される国際スポーツ・フィットネス展示会『SPORTEC Thailand 2026』の“KENKO Investment for Health(日本型健康経営)”ブースに、出展いたします。当社は、セルフケア製品の提供にとどまらず、サービスを通じて健康課題の解決に取り組み、ヘルスケア関連市場へアプローチしていきます。これにより、オーラルヘルスケア習慣の定着を起点として、アジアの生活者のウェルビーイング向上とタイにおける健康経営の浸透・定着に貢献してまいります。

※1 『สำนักทันตสาธารณสุข | Magazine - Detail(第9回全国口腔健康調査の結果に関する報告書)』、タイ、2023年

※2 厚生労働省『令和6年歯科疾患実態調査結果の概要』令和7年修正版、日本、2025年

### 健康経営のグローバル展開

### オーラルヘルスケアの習慣化支援



### 1. タイにおける、オーラルヘルスケアによる健康経営支援の背景

タイでは、2040年に60歳以上人口比率が31.4%<sup>※3</sup>に達すると予測され、働く世代の健康寿命の延伸や安定的な労働力確保が、重要な課題となっています。企業においても、全身の健康維持や生産性向上に関わる「口腔衛生」を含め、従業員の健康を重要な経営資源と捉え、その維持・増進に戦略的に取り組む「健康経営」の考え方への関心が高まりつつあります。

一方、世界的に口腔疾患の有病率は依然として高く、社会的・経済的負担が大きいことが指摘されています。タイにおいても、歯周病やう蝕(むし歯)などの口腔疾患リスクを低減し、働く人々の健康を支える職域でのオーラルヘルスケアの重要性が高まっています。

当社は、統合レポートで示す価値創造ストーリーに基づき、事業を通じて社会課題の解決に貢献することを目指しています。日本国内で培ってきた企業向けウェルビーイングサポートサービス『おくちプラスユー』の知見を活かし、タイにおいても企業の従業員を対象に当該サービスをベースとしたプログラムを展開することで、職域におけるオーラルヘルスケアの普及と健康経営の実践を支援していきたいと考えています。

※3 『SITUATION OF THE THAI ELDERLY 2021 - มุณินิสถาภานวิจัยและพัฒนาผู้สูงอายุไทย(タイ高齢者2021年の状況)』、2022年11月7日

## 2. タイにおける活用を想定した『おくちプラスユー』の概要

『おくちプラスユー』は、企業の従業員をはじめとした法人向けに、唾液検査やセミナーなどを通じて、企業・団体の健康経営としてオーラルヘルスケアの習慣づくりを支援するサービスです。従業員一人一人が自分の口腔状態に「気づき」、オーラルヘルスケアへの意識向上から具体的な行動・習慣化までを一貫してサポートします。これは、当社が掲げる「新習慣の創出」と「習慣化の実践としてのサービス提供」を具現化する取り組みでもあります。日本国内では、2022年7月のサービス開始以降、2025年末までに累計約200件の導入、約10万人の利用者の健康支援を行ってきました。

タイ向けプログラムでは、現地の生活習慣や企業ニーズに合わせた、セミナーやセルフケアアイテムなどの提供により、職域におけるオーラルヘルスケアの普及と健康経営の実践を支援いたします。

## 3. 『SPORTEC Thailand 2026』出展

当社は、タイにおける健康経営支援サービスの紹介にあたり、『SPORTEC Thailand 2026』の“KENKO Investment for Health（日本型健康経営）”ブースに出展します。

これまで、国立研究開発法人 産業技術総合研究所ウェルビーイング実装研究センターは、経済産業省の支援のもと、健康経営のグローバル展開の推進を目指し、海外での健康経営の枠組みづくりを進めてきました。本出展は、その取り組みの一環であり、日本型健康経営のグローバル展開における実証機会として、位置づけられています。当社は、経済産業省および産業技術総合研究所と連携し、唯一のオーラルヘルスケアサービス事業者として、ブース内で以下の活動を行う予定です。

＜ブース内での当社の活動内容＞

- ・職域でのオーラルヘルスケアの重要性の紹介
- ・日本国内での実績紹介

この『SPORTEC Thailand 2026』への出展を起点に、当社グループはアジアにおけるオーラルヘルスケアサービスの事業可能性の検討を進めてまいります。

## 4. 当社のサステナビリティ戦略と今後の展望

当社はマテリアリティの一つに「健康な生活習慣づくり」を掲げ、2030年までにアジア5億人にオーラルヘルスケア習慣を広げることを目指しています。その達成に向け、「新習慣の創出」と「習慣化の実践としてのサービス提供」を軸に、製品とサービスを組み合わせた価値提供を推進しています。

今回のタイでの健康経営支援サービスの紹介は、オーラルヘルスケアを通じて生活者のウェルビーイングに貢献しつつ、セルフケア製品からドメインを拡張し、ヘルスケア関連市場へのアプローチに向けた取り組みの一端です。また、経済産業省が推進する健康経営のグローバル展開の中でも唯一となるオーラルヘルスケアサービス『おくちプラスユー』を位置づけることで、行政・研究機関・企業との共創による価値創造を実践していきます。

当社は今後も、ウェルビーイング国際規格などの国際的な枠組みを踏まえながら、タイをはじめアジア各国の企業・行政・研究機関との連携を通じて、職域におけるオーラルヘルスケア習慣の定着と健康経営の普及に取り組んでまいります。

以上

### 【関連情報】

- ・統合レポート「社長メッセージ」

<https://www.lion.co.jp/ja/ir/library/ar/2026/pdf/ir2026.pdf#page=9>

- ・統合レポート「オーラルヘルスケアの成長加速」

<https://www.lion.co.jp/ja/ir/library/ar/2026/pdf/ir2026.pdf#page=22>

- ・ニュースリリース「歯と口から企業の健康経営®をサポートするサービス「おくちプラスユー」の導入数が累計200件、利用者数が累計10万人を突破！」

2026年1月16日

<https://www.lion.co.jp/ja/newsroom/news/2026/5043>

お問い合わせ窓口

＜報道関係の方＞ 広報部 03-6739-3443  
＜生活者の方＞ 国内ビジネスユニットお客様コミュニケーション部 0120-556-913